



平成23年 8月15日

8 7 6 5 4 3 2
面 面 面 面 面 面 面

花いっばい
子育て支援：父親を楽しもう
押し花講座
みんなで仲良く
暮らしの知識を学ぶ講座
スポーツ
暮らしの知識を学ぶ講座
こどもの詩・俳句・短歌
すばとと・ひと
フェスタぎおん・
あらい祇園祭・べんべん草



まつかわ百景 ⑤4

「スイカ」(清上)

夏の青い空、入道雲とくれば赤いスイカ。1シーズンに1回は食べるでしょう。
今回は切り分ける前のまん丸スイカ。畑にはおなじみのシマ模様混じってシマ
無しスイカもありました。

全国的な少子化により、松川町においても中学校の生徒数の減少、それに伴う中学校教諭の減少、ひいては部活動顧問(指導者)の減少も予想され、将来的に学校教育現場だけで部活動を支えることが困難な時代が来るのが危惧されます。

この問題は、中学校期に行うスポーツがその人自身の生涯スポーツとなる可能性が高いことから、将来の運動競技者、指導者確保にも大きく影響するものと思われまます。

そこで、中学校の生徒たちをはじめ、子どもたちを取り巻くスポーツ環境を皆で一緒に考える集いを設けることとなり、検討委員会が発足し、平成21年度に松川中学校運動部活動を考える集いが開催されました。

第1回集会では、少年少女スポーツクラブ・中学校体育協会それぞれが抱えている問題の洗い出し、中学校運動部活動と少年少女指導者・体協所属クラブ員との協力体制のあり方等が話し合われました。平成22年度には「深めよう指導者間連携」と題し第2回集会を開催しました。

本年度は7月4日に第3回集会を開催し、筑波大学 柳沢和雄教授をお招きして「主人公である子ども、保護者の願い、指導者の願いの共有」と題してお話をいただきました。

その中で子どもに身につけさせたい「生きる力」について

主張

松川中学校運動部活動

検討委員会の活動より

話がありました。

- ① 自ら学び、考え、判断し、行動し、問題を考える能力
- ② 他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性
- ③ たくましく生きるための健康や体力

また、教えすぎると自分で考えない、判断しないので例外対応できなくなると話がありました。

これは、運動部活動だけではなく私たちの日常にも必要なことです。話題提供の後は分散会で、指導者、保護者それぞれの立場から意見交換がされました。

私は、人事異動により6月に生涯学習課に来たばかり、また、中学校時代に運動部活動をしていなかった者ですが、様々なお話を聞く中で生きる力を育む指導のあり方について改めて考えさせられました。

また7月31日には、委員会主催により飯伊トレナーズ協会の皆様を講師に、障害の予防・予測と応急処置講座を開催しました。夏休み中ということもあり、少年少女指導者の参加が少なかつたですが、トレナーズに関する中学生の参加もあり知識や処置の仕方の習得のきっかけづくりになったと思われまます。

今後、検討委員会では必要な事項は関係組織にフィードバックしていきたいと思ひます。

公民館主事 池上徹

町内各地で行われている環境美化運動の活動のなかで「花を植えたらゴミの投棄が減った」という声がありました。そこで町内の花いっぱい運動の一部を取り上げ実際の様子取材しました。

花いっぱい運動

花で町をデザインする

花てまりクラブ

松川インター環境整備

松川の玄関口である松川インター入口を年間を通して、花が見られるように、宿根草そして、季節のいろいろとどりの花を植える活動を行っています。通行する人の目を楽しませるだけでなくゴミの減量に大きな役割を果たしています。



上片桐花いっぱい運動推進協議会

広域農道沿い



毎年5月から上片桐地区の花いっぱい運動が行われます。上片桐区会、地区公民館など各種団体やグループが多数参加して、広域農道沿いの5ヶ所に花苗を植えています。

黄色のヒマワリやマリーゴールド、赤いサルビアなど色とりどりの花苗を通行される皆さんの心の癒しとなるよう、高さや奥行きなどを考えながら心を込めて植えています。

ゆり百合の会

百合を育てて公共施設へ



16年前より活動している百合の会ですが、展示するきっかけは、当時の公民館長からの依頼だったそうです。

現在29名の会員で活動しており、3月に鉢植えを行ない会員が自宅にて大切に育てて見頃になったら、公共施設に飾っています。

百合は、暑さに弱く、管理が大変ですが、見るだけでなくかおりも楽しめます。

明社上新井支部

伊那大島駅北花壇

平成12年に明社松川上新井支部が上新井老人クラブより引き継ぎ、本格的に花壇作りが始まりました。花壇と歩道の間には擁壁を入れたり、土入れをしたりと活動してきました。水の少ない場所なので、歩道橋の雨水を下のタンクに貯めて使っています。

現在は、春咲く花が多いのですが、将来的には年中楽しめる花壇にしたいとの事です。



JAみなみ信州生田事業所

生田農協前(町道74号線)



JAみなみ信州生田事業所そばに生田ミニデイの皆さんが手入れをされている花壇があります。ミニデイに訪れる皆さんが折に触れて目にとめ雑草をとったり、まわりを囲ったりされています。

高齢の方が多いため無理せず気軽に楽しみながら美しい花々と過ごしてられます。

子育て支援センター10周年記念講演会

公民館「ひとひと男と女いきいき講座」

父親を楽しもう！

7月31日 午後1時 トレーニングルーム

講師 安藤哲也氏



講師の安藤哲也氏

イクメン（育児に積極的な男性）という言葉が流行し、男性の育児参加が増えつつある日本の現状と、もたらす効果について、NPO法人ファザーリングジャパン代表の安藤哲也氏から、自身の体験や様々な角度からの分析を通して講演いただきました。

男性が子育てにあまりかわからない

日本

日本の男性の育児時間は、一日平均30分、これは、北欧の一日平均6時間に比べてはるかに短い時間という事がわかります。育児休業の取得率をみても、日本は1%台なのにに対し、最も多いノルウェーでは90%台とここにも大きな差がうまれています。この差は、育児休業に対する考え方の違いからうまれています。

日本では、育児のために休む知識の不足や、給与面でも助成の弱さなど取得しなくてもデメリットの印象が強く、社会（環境）が整っていません。一方、北欧では、日本と真逆で、取得していた方が仕事面で優遇され、社会全体が、

育児に参加しやすい体制になっています。個人の育児に対する意識改革も重要ですが、社会の意識改革、制度面でのバックアップ体制も更に重要である事を痛感しました。



父親が育児に関わるメリット

本来、育児とは、夫婦で協力して行うものなので、父親

が積極的に関わることで、母親の育児ストレスが軽減する事は、一番わかりやすいメリットかもしれません。実は、仕事とも密接なつながりがあります。忙しい中で、育児時間を作り出し、決められた仕事をこなす事で身につく時間管理能力、子どもや母親、家族とコミュニケーションをはかる事でうまれる対話力。総合的な判断でマネジメント力を向上するため育児が仕事に与える影響はとて多く父親自身にとっても得るものが多い事がわかります。子育て支援ときくと、子どもを支援するイメージが強いのですが、父親が育児に参加しやすい環境（制度）を作る事が母親支援につながり、最終的に、子どもを支援する事になります。



未来をつくる

家族という社会生活の一番小さな集合体の中で父親の育児に対する意識が変わる事は社会全体にとってとても大きな意味があります。



父親が変わる ← 家庭が変わる ← 地域が変わる ← 企業が変わる ← 社会が変わる

一つ一つの行動は、地道な努力でも、それが毎日積み重なり、社会に広がっていく育児はとても偉大な事業、だと思います。未来の宝である子どもを育てていく事は、未来を育てる事につながり、それに父親が深く関わられるかどうか未来を明るくする力ギだと思えます。

押し花をつかって 心にのこる一品を

押し花講座① 7月16日(土) 午後1時



一人一人に配られる押し花

夏の午後ひとときに、美しい色とりどりの押し花を使ったミニうちわと絵はがきを作りました。

生田押し花の会の皆さんのご指導で始まり、一人一人に材料のミニうちわ、ハガキ、押し花の入った紙皿が配られます。押し花は、会の皆さんが前もって作ってくださった物です。

はじめは絵ハガキ。粘着面の薄いシートをはがし、ピンセットで絵をかくように押し花をのせていきます。

「私、センスないのよね」
「手がふるえるしうまく置けないし、どうしよう」
あちらこちらからこんな声が聞こえてきます。

粘着面に軽く置いておけばピンセットによって位置を移すこともできるので納得する

まで考えてシートで押さえて完了です。

次にミニうちわ。こちらは粘着面になっていないので、気軽に置いていけます。先に作ったハガキに使用した残りの分も使うので、色、形、大きさなどのバランスを考えておくことも大切です。

デザインが決まったら透明



ハガキの粘着面に置きます



ピンセットで置いていきます



張りつけが済んだら、まわりを切り取ります



うちわは透明シールを張ります

な粘着シートで上から覆って押さえ、まわりの余分なところを切り取って完了です。

以上のように書くと、とても簡単にすすんでいけるようすが、細かな部分で手をかけるところもあり、押し花の会の皆さんにお聞きしながら作っているとスムーズにできました。

今回ご指導いただいた生田押し花の会の皆さんを、町内外で活躍されていらっしゃるの

第2回押し花教室
期日：9月3日(土)
時間：午後1時
場所：中央公民館



でご存知の方も多いいと思います。小品から大作まで、とても押し花で作られているとは思えないような絵画風の物などもあり思わず目を奪われてしまいます。



できあがったミニうちわ



できあがったハガキ

題 題
問 え
考 考
人 人
を を
仲 仲
良 良
く く
み っ
ん っ
な っ
で っ
大 大
人 人
を を

すてきなスイミーへ

中央小2年 岩田まさと

スイミーさん、お元気ですか。ぼくは元気です。

ぼくは、「スイミー」のベんきょうをして、スイミーさんて、すてきなあとと思いました。

わけは、やさしくて、ゆうかんだからです。スイミーさんは、自分からあぶないところをえらんで、なかまをまもろうとしていてすごいです。

ゆう気のあるスイミーへ

中央小2年 林 ゆき子

わたしは、「スイミー」のベんきょうをして、スイミーつてゆう気があるなあとと思いました。

わけは、じ分のきょうだいではない赤い魚と力をあわせて、大きなまぐろをおい出そうとしたからです。

スイミー、赤い魚たちと新しい兄弟みたいに、なかよくくらししていますか。

これからもなかよくできますように。

スイミーくんへ

中央小2年 滝澤裕太

いそぎんちゃくとか、こんなにきれいなものを見たら、すぐに元気が出るよね。

スイミーくんが考えて、大きな魚になろうと言ったことがすごかったね。みんなが力をかしてくれて、大きな魚になれてよかったね。

一びきだけ体の色が黒かったけど、目になって赤い魚と大きな魚になれてよかったね。

ゆうかななスイミーへ

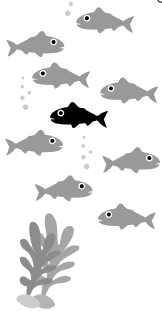
中央小2年 大島ゆうすけ

ぼくは、「スイミー」のベんきょうをして、スイミーつてゆうかんだな、と思いました。

わけは、海で一ばん大きな魚のふりをしておよぐときにスイミーは一ばんあぶない目のやくをやっていたからです。

スイミー、今もみんなとかよくしていますか。ぼくはクラスゼンいんでたのしくあそんでいます。

もう大きな魚に、なかまをたべられないように気をつけてね。



スイミーくんへ

中央小2年 北村優衣

大きなまぐろがきたときは、赤い魚たちが食べられちゃって大変だったよね。

でも、いそぎんちゃくとかくらげとかを見て、元気をとりもどせてよかったよね。

一ばんよかったのは、やっぱり赤い魚たちを見つけて、なか間になれたことだよ。

いろいろなことがあった、ぼうけんのさいごに、赤い魚たちと会って本当によかったね。赤い魚たちとあそんだりできて、よかったね。

スイミーくんへ

中央小2年 田中詩織

大きい魚からよくにげられたね。わたしもきょうだいがいるから、きょうだいがいなくなったらかなしいね。

でも、きょうだいとそつくりのなか間がいてよかったね。そのなか間と力を合わせて、大きな魚になって、きょうだいたちをたべた大きな魚をおい出せてよかったね。

つぎは、新しいなか間といっしょにくらばんだね。よかったねスイミーくん。

第2回「暮らしの知恵を学ぶ講座」が7月8日(金)に開かれました。

今回は、管理栄養士の竹下則子先生を講師に迎え、家に帰って約20分でさつとできる料理を教えてくださいました。メニューはイカのカレーマリネと長ネギとアスパラのオムレツとコーンスープ。

メイン料理のイカのカレーマリネとは「マリネ」とは魚や肉や野菜を酢やレモン汁などのつけ汁で浸す調理法です。酢は疲労回復効果やその匂いが脳を刺激し食欲増進効果があるとも言われます。

っており、食欲が落ちる暑い夏にはもつてこいの調味料です。さらにイカとトマトが入ることと彩りも鮮やかになり、目でも楽しむ事ができる一品でした。三品作り、調理開始から片付けまでにかかった時間は

暮らしの知識を学ぶ講座② 男性も参加して 料理教室



疲労回復や食欲増進効果のある料理

わずか30分！さすがは毎日料理をされている方達です。手際のおよさが違いました。

参加者の皆さんに感想を聞くと「少しの時間でこれだけ作れるのはとても嬉しい。マリネに入れる具材をかえてまた家で作りたい。」「食卓のメインにもなるし、お酒のおつまみとしてもピッタリ!!」ととても満足な講座になったようです。

今回は男性の参加者さんもいらつしやう、その方は普段から奥さんの料理のお手伝いをしていそう、料理教室にも自ら参加を希望したそうです。次回は9月9日(金)内容は「環境・ゴミの分別」です。気軽に参加してみたいかがでしようか。

お問合せ先 松川町中央公民館
電話 0265-3612622
FAX 0265-3616620

太陽ギラギラ!! 熱闘スポーツ!!

長野県小学生 陸上競技大会

大会新記録で全国大会出場!!

6月26日松本広域公園陸上競技場にて行われた県大会で松川町陸上クラブ男子リレーチームが大会新記録にて優勝し、4年ぶりに長野県代表として5度目の全国大会出場をきめました。

小学生男子 4×100mリレー
決勝 51秒95 大会新記録

2011年第27回全国小学生陸上競技大会交流大会は8月26・27日の2日間にわたり神奈川県横浜市の日産スタジアムで行われます。

それに向けての各選手の目標と一言をお知らせするとともに、多くのみなさんの応援をいただきたいと思います。

各選手の目標と一言
チームの目標 県記録更新

51秒00 (8位以内入賞)

近藤雅哉 (松川中央小6年)
目標 12秒前半

・全員の気持ちを一つに、エースとしての自覚で全力の走りをする。

高田泰彦 (松川中央小6年)
目標 13秒前半

・走った距離は誰にも負けな
い、ベストの力で走り抜ける。

松下哲也 (松川中央小6年)
目標 13秒前半

・マルチランナー、全国のランナーと共に全力で走ります。

寺澤龍吾 (喬木第一小6年)
目標 12秒後半

・弾丸スタートの走り、前走者を追い越し確実にバトンを渡す。

米澤和真 (松尾小6年)
目標 12秒前半

・確実にバトンをもらい、一歩でも一秒でも全力疾走、風を超える。

松崎健悟 (高森南小6年)
目標 13秒前半

・切れの良いスタート、気迫と根性で一秒でも早い走りをする。

松川町 ゲートボール連盟 夏期大会

7月18日に行われた松川町ゲートボール連盟夏期大会の結果は次のとおりです。

優勝 間沢チーム
準優勝 名南チーム
3位 長峰チーム

第36回松川町 オープンソフトボール 大会

7月3日に開催された松川町オープンソフトボール大会の決勝戦が7月31日に行われました。

結果は次のとおりです。
1位 城北A
2位 大栢
3位 名子原クラブ

第50回 長野県中学校 総合体育大会夏季大会 柔道競技

全国大会出場!!

第50回 長野県中学校総合体育大会夏季大会が7月16、17日の2日間にわたって三郷文化公園体育館で行われました。柔道競技の結果は次のとおりです。

女子70kg超級
1位 赤澤鈴乃 松川中学校
赤澤さんは8月21日〜24日に和歌山県で行われる第42回

公民館 スポーツフェスティバル

7月22日に、町民体育館にて本館体育部主催のスポーツフェスティバルが行われました。

地区館の体育部員をはじめ大勢の参加の中、ニュースポーツの囲碁ボール・チャンスパール・カーフロッカー・ワンバウンドふらば〜るバレーが行われました。



次の一手を考える (囲碁ボール)

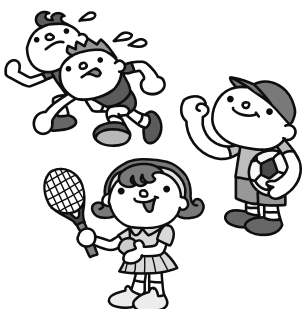


「ワンバンッ!!」の音がとびかう (ワンバウンドふらば〜るバレー)

全国中学校柔道大会へ出場されます。皆さんの応援をよろしく願います。

参加した人のほとんどが、「おもしろい!!」と言って競技されていました。みなさんも機会がありましたら、是非体験してみてください。

初めて体験する人が多く、説明を聞きながら楽しんでいました。子どもから高齢者まで参加できるものばかりで、地区館の行事でもやりたいと言う声もありました。





本当のことを伝えたくて 『おじいさんの青春(兵隊体験記)』を出版

小笠原芳雄さん



小笠原さんが戦時中に体験されたことを記した『おじいさんの青春(兵隊体験記)』は戦争の良い悪いではなく悲惨な戦争の中にも人間の人情、関わりがあり、

こういう時代があったことを知ってもらいたくて書かれたそうです。おなかをすかせた兵隊に知

7月17日(日)この時期、恒例となっている片桐3分館マレットゴルフ大会が開催されました。

清流苑マレットゴルフ場で行なわれるこの大会には、上片桐地区公民館の町谷・中荒町・上すぼんと町の各分館より老若男女を問わず多くの皆さんが参加され、3〜4名のグループをつくって18ホールまわります。

顔は知っていてもお話をすることの少ない他分館の人、

らないおばさんにおにぎりを作ってきてくれたり、軍隊の教官からは戦い方だけでなく人の生き方を教えられたそうです。

戦争は恐ろしいものですが、経験したからこそ辛いことも耐えられ、生きることができ、

ことか頭で考えることができ、今の若い人たちにも「生きる」ということを考えていってほしいとおっしゃいます。

写真好きで以前は写真屋を経営していましたが、区会など多くの役員をされていたため(詩

同じ分館であつてもしばらく会っていない人などと、親しく楽しく話しながらプレーをしていきます。

マレットゴルフ場もそれぞれ個性的なコースが設定され

夏のマレットゴルフで熱闘を!!

片桐3分館マレットゴルフ大会

ていて初めは、ホールが逃げているんじゃないかと思うくらいボールがあつちに転がりこつちに転がり、後ろの組の人に迷惑かけっぱなし。山あり谷あり：大きさではなく苦

今に10年のめり込んでしまったというエピソードも)好きな写真を撮ることから遠いいました。今、「もう一度撮りたい」という思いが強くなり出掛ける時はカメラを持ち歩き車や草花など風景を撮っています。一番はその中に暮らす人(人間の生活)を撮りたいのですが、現代社会では風景の中に人(モデル)がいなくて困るといいます。昔の写真を見せていただきましたが、その当時のお話を聞きながら今の時代との変化を比べることができました。

書物や写真で本当のことを伝え、残すという気持ちが伝わってきます。

暑いなかでのプレーのあとには表彰式でしつかり盛り上がるその興奮のまま清流苑での焼肉で生ビール!!マレットゴルフが添え物かと思うほどのまとまりの良さでの慰労会で終了!!

子どもから高齢者まで大いに楽しんだ午後でした。

1学期をふりかえって北小4年 村田あんゆ

もうすぐ1学期の終わり1学期はいろいろあった4月入学式 元気な1年生が入学

5月遠足 はじめて入ったかたぎりダムの中。暗くて寒かった6月音楽会練習 みんないっしょうけんめいやっていた7月音楽会 みんなの音がびつたりあつた

1学期は、みんなでたくさん楽しい思い出作られたよ夏休みが終わったら2学期もみんながんばろう

ななすぎさんとの交流会

北小4年 原 夏紀

ななすぎさんと交流会をした。部屋に入ったらおばあさんたちがいっぱいいてきんちようした。おり紙、手遊び歌、紙しばいをグループごとに発表した。私は、おり紙のグループ。みんないろいろな物を作っていた。かぶとや、きれいな花、つる、小さな箱など。みんな楽しそうにお年よりの人たちとやってくれてうれしかった。帰る時、一人のおばあさんがな

こころの詩

1学期をふりかえって北小4年 村田あんゆ

もうすぐ1学期の終わり1学期はいろいろあった4月入学式 元気な1年生が入学

5月遠足 はじめて入ったかたぎりダムの中。暗くて寒かった6月音楽会練習 みんないっしょうけんめいやっていた7月音楽会 みんなの音がびつたりあつた

1学期は、みんなでたくさん楽しい思い出作られたよ夏休みが終わったら2学期もみんながんばろう

ななすぎさんとの交流会

北小4年 原 夏紀

ななすぎさんと交流会をした。部屋に入ったらおばあさんたちがいっぱいいてきんちようした。おり紙、手遊び歌、紙しばいをグループごとに発表した。私は、おり紙のグループ。みんないろいろな物を作っていた。かぶとや、きれいな花、つる、小さな箱など。みんな楽しそうにお年よりの人たちとやってくれてうれしかった。帰る時、一人のおばあさんがな

おわかれがさびしいのかな。それだけ交流会が楽しかったんだなと分かった。わたしもまた交流会をしたいな。

俳句

百選の水

岩崎久子(名子中部)

水照りする心ほどけて額の花

臥す我に夫一端の夏料理

並びるて百選の水土用の日

雨激しかさず花沙羅零れたる

夏草や一本筋に煙立つ

短歌

被災地への思い

西村 岬(広小路)

大地震に津波押し寄せ破滅せる映像ひと日見入りて泣けり

濁流に流されながら木に縋り助かりし人の強き命ぞ

震災の地に大雨の予報出て今日も心が強く痛めり

ニュース見るその度泣けてしまうなり

家族を捜す人の言葉に

跡形も無きもの探す被災者の

疲れ顔見る今日も又観る

あらいの 7/16 祇園祭

勇壮なみこしと夜空を彩る
花火で盛り上がりました



全国で夏のイベントが
自粛される中、
松川では復興も祈願して
盛大に祇園祭が
行われました



上片桐フェスタ ぎおん

7/2 夏祭りの皮切りとして
大いに楽しみました



草

大震災直後、復興の一助として仙台南やササニシキを使ったキャンペーンが大々的に行われていました。

ところが現在、状況が一変してしまいました。牛肉はセシウム汚染の疑いがあるというので、いくつかの県で出荷停止指示が出されています。またこれから収穫期を迎えるコメも汚染調査がなかなか進まず苦慮しているようです。

放射能汚染に関して暫定基準値が食品ごとに決められています。そもそもその値はどれだけ信頼できるのでしようか。基準値ストレスでパスしたものを食べ続けても構わないのでしょうか。メディアでも色々解説されていますが結局納得するような答えは出ません。今、一番思うことは、本当のところはどうなんだろうという事です。どなたか目からウロコの名回答をお願いします。

宮下 徹

公民館報
「まつかわ」
第 574 号
平成23年8月15日
発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)